

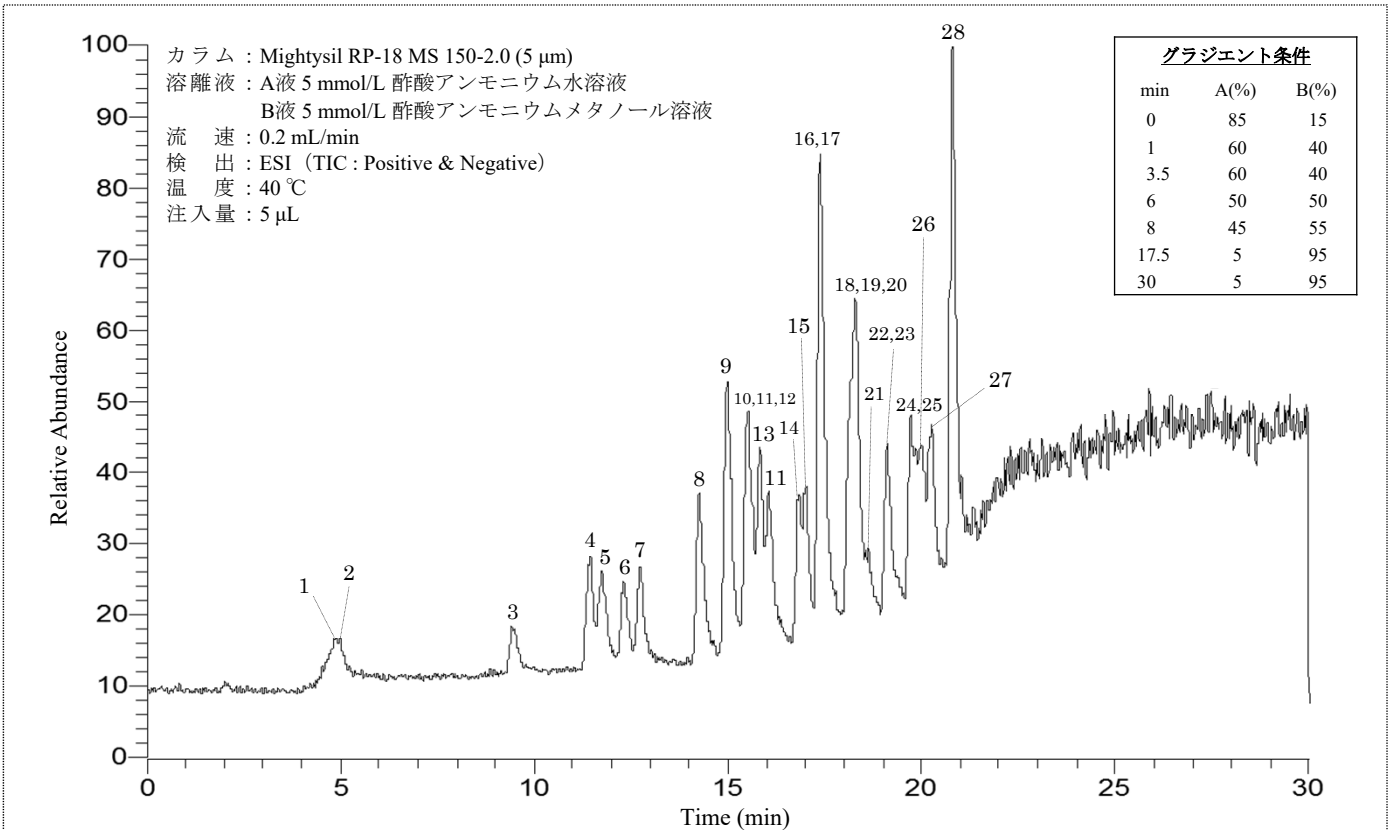


● 成分

- | | | | | |
|---------------|--------------|---------------|---------------|----------------|
| 1. アルジカルブスルホン | 7. モノリニuron | 13. ホスカリド | 19. ピラクロストロビン | 25. ルフェスロン |
| 2. オキサミル | 8. シウロン | 14. フルフェナセト | 20. トリフルムロン | 26. テフルベンスロン |
| 3. アルジカルブ | 9. フルリトベン | 15. エポキシコナゾール | 21. クロフェンテジン | 27. ヘキシチアゾクス |
| 4. カルボフラン | 10. リニuron | 16. テブフェノジト | 22. ノバルロン | 28. フェンピロキシメート |
| 5. テブチuron | 11. シメトモルフ | 17. シフルベンスロン | 23. ダイアレート | |
| 6. カルバリル | 12. フェンアミトベン | 18. シプロジニル | 24. プロパキサホップ | |

(各 10 mg/L、メタノール溶液)

<クロマトグラム例>



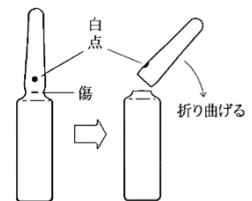
● 使用上の注意

溶液は、溶媒の揮散による濃度変化をなくすため、アンプルに入れてあります。

1. 一定の場所を定め、冷凍保管 (-20 °C以下) して下さい。
2. 取扱い中は必要に応じ、防毒マスク、保護手袋を着用して下さい。
3. 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
4. アンプル開封後は直ちに使用し、使用後の溶液は廃棄して下さい。

<アンプルのカット方法>

アンプル首部を清浄に拭き取った後、右図の様に“白点” (マーク下のカット部に傷が付いています) の反対方向に折り曲げるように力を加えると簡単にカットできます。



<アンプル開封時の注意>

1. アンプルのカット時は、保護具、保護手袋等を必ず着用して下さい。
2. 白点部分と異なる場所を無理に折り曲げると、アンプルが破損する恐れがあります。
3. カット後の切断面には触らない様注意して下さい。



関東化学株式会社

試薬事業本部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

TEL : 03-6214-1090

HP : <https://www.kanto.co.jp>